

平成28年度地域創生総合支援事業

～チーム会津で臨む防災力向上プロジェクト「守・破・離」～

会津地域防災力向上研修会

目的

この研修会は、防災体制の整備・充実に役立つ実践的な研修です。
いざという時に自分たちの地域を守るための知識や技能を学びます。



期日

平成28年11月17日(木)

13:10～16:30 (受付: 12:45～)

会場

福島県ハイテクプラザ



会津若松技術支援センター 多目的ホール

〒965-0006 会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 88-1 電話 0242-39-2100

対象

- 各市町村職員 (教育委員会関係、防災関係、福祉関係等)
- 社会教育各種団体関係者、町内会・婦人会関係者
- 社会福祉協議会職員及びボランティア等
- 教職員 (管理職・学校防災担当者等)
- その他、地域防災に関心のある方々

**参加費
無料**

定員

先着40名程度 (会場の関係により)

13:10 13:20 14:20 14:35 16:05 16:20 16:30

開 会	講 演 (60分)	休 憩	講 義・演 習 (90分)	質 疑 応 答	閉 会
--------	-----------------	--------	------------------------	------------------	--------

内容

- ◆ 講 演 「 災害と情報 ～熊本地震をきっかけにして～」
講 師 **東洋大学 社会学部 教授 中村 功氏**
- ◆ 講義・演習 「 東日本大震災の教訓はいかされたのか」
～ 熊本地震について防災シミュレーション教材
「さすけなぶる」をとおして考える ～
講 師 **福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
特任准教授 天野和彦氏**

講師 紹介



☆東洋大学 社会学部 教授 **中村 功氏**

東京都出身。東京大学大学院社会学研究科修士課程修了後、松山大学、東洋大学（現在）で教鞭を執る。専門は、通信メディア（電話、携帯電話、PHS等）の社会的役割を社会心理学的に研究すること。日常生活における通信メディアの役割や災害時の通信メディアの役割について、国内はもちろん、世界各地において現地調査を行い研究を深めている。

☆福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任准教授 **天野和彦氏**

会津若松市出身。社会教育主事の経験を生かし、東日本大震災時2,500人もの避難者がいた「ビッグパレットふくしま避難所」運営チームの特命担当として避難者の生活改善、自立に向けて、さまざまな役割を果たした。また、福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの「防災教育教材作成プロジェクト」プロジェクトリーダーとして防災シミュレーション教材「さすけなぶる」の開発に尽力した。

申込方法 申込先 (問合わせ先)

申込様式 により、**平成28年11月9日(水)までにFAX又はメール**でお申し込みください。

会津教育事務所 総務社会教育課 (担当: 長沼)

- ◆ TEL : 0242-29-5488 FAX : 0242-29-5494
- ◆ E-mail : aizu.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



主催

福島県教育庁会津教育事務所

交通アクセス 及び 案内図



..... 切り取り線

平成28年度 会津地域防災力向上研修会 参加申込書

市町村	所属(機関、団体等)	職名等	氏名	備考